



誓いのことば

新成人代表 伊藤 翔真さん

本日、成人の日を迎え私たちのために、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。また、お祝いや激励の言葉をいただきました、佐藤町長はじめ、ご来賓のみなさんに新成人を代表して、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は記念すべき100回目の夏の甲子園大会で、100年の歴史の中で史上初となる大阪桐蔭高等学校が2度の春夏連覇という前人未踏の記録を達成いたしました。

テニス界でも大坂なおみ選手が日本テニス界初となる、4大会シングルス優勝の快挙を成し遂げたことが話題となりました。こういった若い世代の活躍が多く報じられ、来年2020年に迫りました東京オリンピック・パラリンピック競技大会にも大きな期待を持てるような結果となり、なおかつ年齢の近い私たちも大変刺激を受けました。

その一方で、昨年の漢字が「災」となりましたように、北海道の胆振東部地震をはじめ、大阪北部地震、西日本豪雨や台風21号での被害といった、例年より多くの災害に見舞われました。

この先も高い確率で、大地震が起こるであろうといわれています。東日本大震災を経験した私たちは、その経験をしっかり生かして今後役に立たせないといけなくと改めて感じる事となりました。

本日、平成最後の成人式を迎えました私たちは、これからは一人の大人として、社会に出ることになります。しかし、私たちは社会の中では、まだまだ未熟者です。この先も多くの困難にあたることもあると思いますが、人との協力を大事にして乗り越えていきたいと考えています。

結びになりますが、これまでお世話になった地域の方々や先生方、またここまで育てていただいた両親や家族への感謝の気持ちを忘れずに、これからも日々精進し、立派な社会人になることを誓い、新成人の誓いのことばとさせていただきます。

